



第80回車座集会（川崎区） 結果概要

1 開催概要

- (1) 日時・場所 令和8年3月12日(木)15時15分～17時 ステーションコンファレンス川崎
- (2) 参加者数 会場参加:45人、オンライン参加:48アカウント 計:93人
- (3) テーマ 「外国人労働者の受入れと地域社会での共生に向けた取組の創設に向けて」
区内企業3社からの事例発表を受け、企業・有識者と意見交換を行いました。
- (4) その他 同日、同会場で、13時30分～15時に、企業向けセミナーを開催しました。

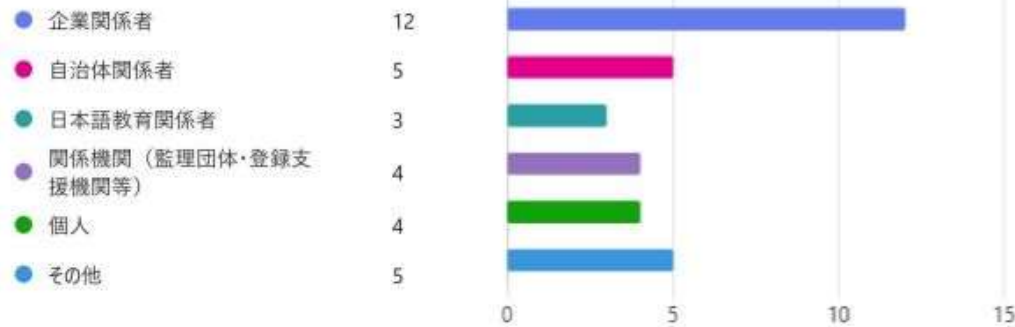
2 アンケート結果 ……2～5ページ

3 意見交換の概要等 主な意見と今後の取組 ……6～7ページ



アンケート結果 (n=33)

1. 参加者属性



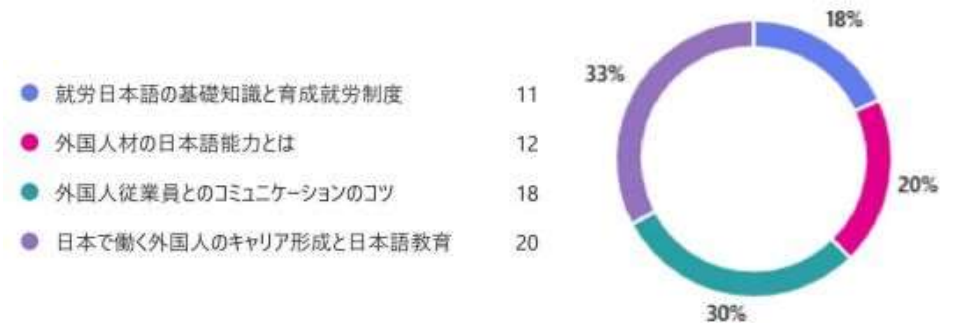
2. 外国人労働者を雇用しているか



3. 第1部 企業向けセミナー：満足度



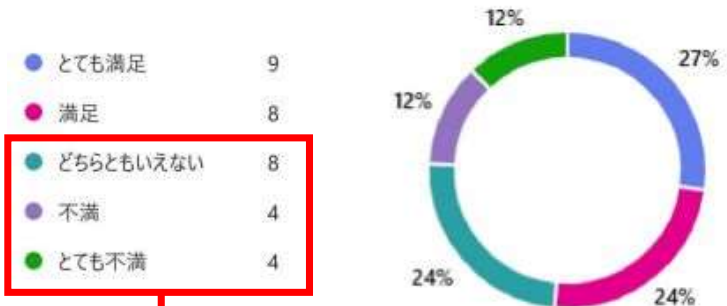
4. 第1部 企業向けセミナー：有意義だった項目



5. 第1部 企業向けセミナー：有意義だった点(自由記述・抜粋)

- ▶ **心理的安全性**や**目標の明確化**の部分が大変参考になりました。自身の能力向上や将来的にどのような期待をされているか、本人へ伝わるような対応を工夫したいと思いました。
- ▶ 就労定着のためには会社だけではなく、**地域社会に参加することで自信や居場所づくりにつながる**ことなどを学びました。
- ▶ **日本語力のレベルと作業、業務との連携**に気付かされた。**パフォーマンスが上がらないのは、日本人のコミュニケーションの誤りが要因**であり、あらためて社内教育を行おうと考えました。
- ▶ **課題遂行のための言語コミュニケーション能力**と言う視点が、目から鱗が落ちるものでした。
- ▶ 外国人材のキャリア形成において、**自社で取り組めることについて、イメージできた点**
- ▶ 全体的に網羅されていましたが、あまり目新しい話、深掘りした分析が聞けなかったのが、残念です。

6. 車座集会(第2部 パネルディスカッション)の満足度

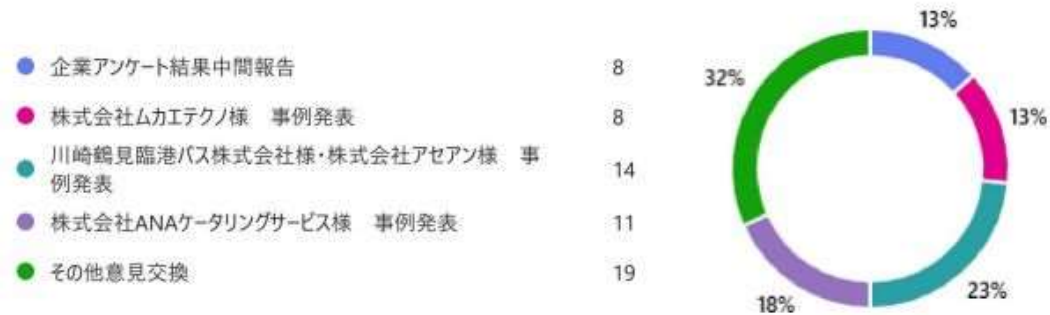


全てが音声の不具合への不満に言及

(オンライン参加者のうち約半数が途中で配信を離脱)

⇒後日、車座集会Youtubeアーカイブ配信を案内

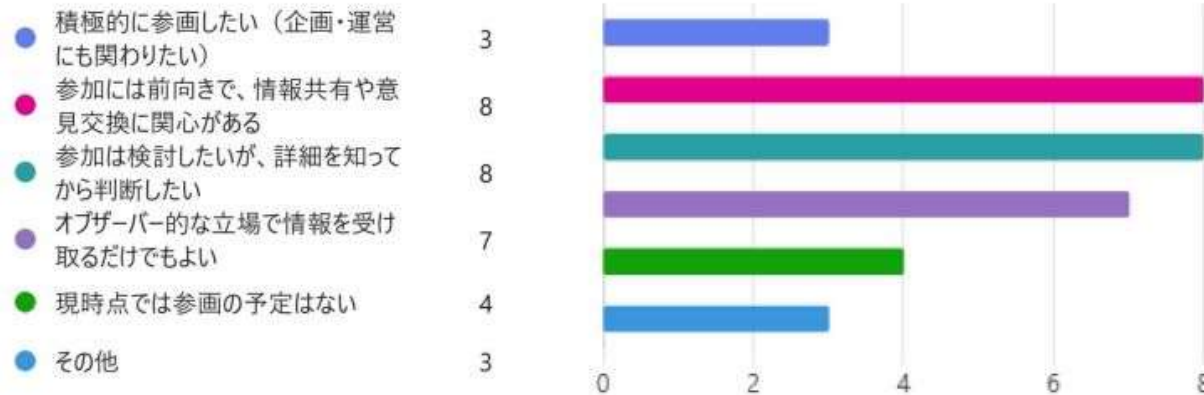
7. 車座集会(第2部 パネルディスカッション) :有意義だった項目



8. 車座集会(第2部 パネルディスカッション)有意義だった点(自由記述・抜粋)

- ▶ 他の業界、他の職種の事例を見ることができ、**自社との違いに気づけたり、良い点を参考にできた点**
- ▶ フィリピンでの訓練後に生活習慣を学んだ上で来日する制度設計が参考になった。
- ▶ 優秀な外国人人材を確保するために、各企業が、待っているだけでなく、現地において行っている努力、来日後に行っている努力が見えて、勉強になった。
- ▶ 優良事例について、当事者から具体的な話が聞けて良かった。田村氏や丹野氏から、新しい視点がもられた。
- ▶ ANAケータリングサービス様の**継続的な日本語教育が日本語力とコミュニケーション、社内活性化に繋がっている事例**は、大変参考になった。
- ▶ 取組として目指していく**理念的な方向性と現実の橋渡しを**考えていく際に、**個別の事例はとても参考になります**。質疑応答の時間があると尚よかったです。
- ▶ 川崎市の**官民協議会を準備**していること
- ▶ 市長の進行が素晴らしく取組の特徴がよく掴めました。田村先生の社会インフラとしての多文化共生の見方は全く同感でした。
- ▶ **多文化共生は社会のインフラ**という概念は地域、企業、全ての方々にとって重要と思いました。

9. 日本語教育や受入れ・定着に関する支援施策を実施する官民連携協議会への参画についての意向



10. セミナー・パネルディスカッションへの意見・要望

- ▶ 外国人の就労に関する交流会やサポート制度などの情報がございましたら、ぜひご共有いただけますと幸いです。
- ▶ 今回のような形が素晴らしいと感じました。大変有意義な企画でした。川崎市の先駆的な取組み姿勢に感謝しつつ広がりを期待しております。
- ▶ 時代の空気感を含め、とても対応の難しい問題を含む内容だと思いますが、外国人との共生の長い歴史を持つ川崎だからこそできる事があると思います。期待しています。
- ▶ 各社様の取組みについてもお話を聞けて、またパネルディスカッションでは過去の取組み、他分野での取組みの話も盛り込まれていて内容が充実していて今後の外国人雇用と彼らとのお付き合いについて、なんとなく明るい希望が見えてきた感じがしました。
- ▶ 生活内に日本語が前提となっており、職場環境や周囲がサポートしなければならない状況にある。マイナンバーカード受取りに関しても、PINコード登録に関する英語案内がなく、他自治体のHPを参考に案内する必要があり、受入れ企業も努力はしていく一方で、自治体としての受入れ体制の方針も伺いたかった。
- ▶ 本日のテーマも発表されたパネリストも、大変興味深いものでしたが、これは本当に川崎区が率先してやるべき事なのでしょうか？川崎市が旗振りすべきものではないかと思いました。



車座集会で出た主な意見と今後の取組の方向性

現状に関する意見

労働者としての受入れ⇒多文化共生の**大転換期**

多文化共生は社会インフラ～無ければ人は来ない

都市部での実習生受入れ:著しい人手不足

外国人 ≠ 安い労働力

多様な人を受け入れる文化・奥行きの深さ

市民の力・関心

川崎の強み

今後の取組に関する意見

日本人と外国人が**共に活躍し・責任を分かち合う**

体系的な生活・コミュニケーション支援

地域と外国人労働者の出会い～**コミュニケーションギャップ**を埋める

小さな対話を重ねる

住まいの確保・住まい方・コミュニケーションの課題

国:日本語・制度・ルール等学習プログラム創設

今後の取組

市内での課題共有

川崎区地域多文化理解促進事業

地域活動団体と連携した多文化理解講座等の実施、町内会・自治会向け翻訳支援 など

川崎区多文化共生コミュニティ促進事業

かわさき多文化共生プラザを活用したコミュニティ支援



車座集会で出た主な意見と今後の取組の方向性

連携の取組に関する意見

多様な市民が集まる
川崎市の企業

自走の難しさ

好事例(信頼性)の共有

強みを持ったステークホルダーとの連携

今後の検討の進め方に関する意見

マルチステークホルダー
エンゲージメント

ボトムアップでの小さな対話

今後必要な取組に関する意見

教育投資～**定着につなげる取組**

高度人材だけではないニーズ

選ばれる会社・都市～優良企業認定など

心理的安全性の確保

他都市事例:官民の共同出資で外国人雇用サポートデスク運営

サプライチェーン全体で意識・国際社会の評価・ビジネスと人権

古きよき日本の企業文化を国境を越えて取り戻すようなことを

今後の取組

官民連携協議会準備組織設立

受入れ企業のニーズや
他都市事例等を踏まえて
日本語教育や
外国人労働者受入れ・定着に
関する支援施策を検討